

## 年度評価シート（令和6年度）

課名 観光政策課

施設の名称 静岡市東海道広重美術館	指定管理者名 特定非営利活動法人 ヘキサプロジェクト
<b>1 履行状況</b>	
<p>令和6年度は、指定管理期間（令和3年度から令和7年度までの5年間）の4年目である。現指定管理者による指定管理は通算12年目となるが、清水港に入港するクルーズ船を含むインバウンドの影響もあり、過去最高の利用者数を記録している。</p> <p>指定管理業務は、業務仕様書及び事業計画書に従って、適切に履行されている。</p>	
<b>(1) 目標達成</b>	
ア 利用者満足度	
目標値80%、実績値88%（前年度88.4%）	
達成率110%（前年度比99.5%）	
【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値73.2%、達成率91.5%	
イ 利用者数	
目標値 23,000 人、実績値 29,610 人（前年度 26,319 人）	
達成率 128.74%（前年度比 112.5%）	
【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 19,955 人、達成率 72.9%	
<b>(2) 人員配置状況</b>	
正規5人 パート2人	
<b>(3) 業務実施状況</b>	
各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って、適切に実施されている。主な事業と参加者数は以下のとおり。	
ア 展覧会事業	
(ア) 双筆 ～めいしよ広重×にかほ豊国～	
(会期：4/1～5/26 (Part 1～2)、入館者数：5,261人)	
(イ) 浮世絵のいろは ホンモノで学ぼう	
(会期：5/28～7/28 (Part 1～2)、入館者数：3,882人)	
(ウ) 出張！日本平動物園 帰ってきた うきよえどうぶつ館	
(会期：7/30～10/6 (Part 1～2)、入館者数：4,952人)	
(エ) 東海道五十三次	
(会期：10/8～1/26 (Part 1～3)、入館者数：8,876人)	
(オ) タテ派 VS ヨコ派	

(会期：1/28～3/30 (Part 1～2)、入館者数：6,639人)

イ 関連事業及び教育普及事業

(ア) ギャラリートーク：11回、189人

(イ) 団体向け展示解説：391人

(ウ) 講演会：1回（動物を見ることの歴史-見世物から動物園へ）、18人

(エ) 出張講座：7件（学校5件・一般2件）、293人

ウ その他

(ア) フジドリームエアラインズ「次郎長の夢-SHIMIZU`S Dream」

(10/14、11/3、11/5)

(イ) ゆいまるプロジェクト主催の「ゆいまるフェア」への協力（3月）

【検証・分析等】

展覧会事業では、浮世絵作品を所蔵する他施設からも作品を借用し、浮世絵が流行した江戸時代の交通、名所・名物、暮らしなどに焦点を当てた企画展を開催するなど学芸員の調査・研究の成果を最大限活用し、多様な切り口で浮世絵の文化と美術館の魅力の発信に取り組んだ。その結果、入館者数の目標値を大幅に超えて達成した点は非常に評価できる。

また、地域の施設・団体が協力して由比地域の活性化に取り組む「ゆいまるプロジェクト」にプロジェクト設立当初より参加しており、令和6年度はプロジェクト主催のゆいまるフェア（3月）のイベントに協力した。さらに、NPO法人ふれあい由比との共催事業として「第19回ゆい年賀状版画コンクール」を実施し、由比の町のPR、版画文化の振興に寄与するなど、地域住民や観光客に親しまれる歴史街道まち歩きの拠点として、各種事業に取り組む姿勢は大いに評価できる。

【確認結果】

○：業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

(1) 意見：順路の問い合わせ

対応：エントランスホールの企画展看板およびデジタルサイネージの館内見取り図におすすめの順路の矢印を追加。また、スタッフによる案内を実施し対応している。これにより問い合わせの件数は大幅に減少した。

(2) 意見：他の来館者がうるさかった。表示を大きくしてほしい。

対応：私語に関する注意喚起はエントランス入り口と大展示室入り口にあり。また、状況に応じてスタッフによる注意喚起を行っている。こまめに状況を確認し、問題が起こらないように注意喚起を継続していく。

【検証・分析等】

利用者からの意見・要望に対しては、概ね適切に対応し、即時の対応が困難である要望に対しても前向きに対応・検討するなど、良好な対応がなされているといえる。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

満足度向上のため、来館者を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

回答者総数：1,512件、「とてもよかった」「よかった」と回答した人数：1,415人

- ① 展覧会の満足度93.6%（前年度93.0%）
- ② その他常設展示の満足度82.4%（前年度83.9%）

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

施設の認知度を調査するため、静岡市が設置している観光施設4施設（由比本陣施設、清水港船宿記念館、坐漁荘記念館、三保真崎グラウンドゴルフ場）に来館、入場した人を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

回答者総数：1,832件、当該施設を知っていると回答した人数：849人  
認知度：46.3%（前年度45.1%）

施設の認知度は46.3%と昨年度を上回った。所管課も協力して公共施設等へのチラシ配架など広報に取り組んでいるが、指定管理者には、引き続き認知度向上及び集客に向けた取組の工夫を期待したい。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、利用者数の大幅による増加による収入増があったものの概ね予算のとおりにより執行されている。

【検証・分析等】

指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおりにより執行されており良好である。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総合的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

本施設は、同一敷地内の由比本陣施設とともに、「江戸時代を感じさせる、まち歩き拠点」として、市の第4次総合計画の主要施策である「駿州の旅日本遺産推進事業」や「東海道歴史街道まち歩き推進事業」において重要な役割を担う施設である。

企画展の内容は、本市の事業の趣旨を踏まえた内容となっているだけでなく、他の施設・団体との連携を展覧会事業及び施設運営に活かし、様々な切り口で幅広い層への浮世絵文化の魅力を発信し、目標の入館者数を達成したことは非常に評価できる。

また、教育普及事業では、「スクールプログラム」や「出張講座」を利用者の希望に合わせて工夫するなど、利用者の満足度向上に努めるとともに、市内だけでなく富士市、富士宮市といった市外の小中学校にも広報活動を行うなど、本施設のファンづくり、幅広い世代への浮世絵文化の魅力に触れる機会の提供を実施し、広く普及活動を行っ

ている点も評価できる。

今後、清水港に入港するクルーズ船も増える見込みであり、インバウンド需要を的確に取り込むなど、さらなる入館者の増加に期待したい。

**【評価結果】**

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。